

1 はじめに

南相馬市では、全国的な少子化の影響に加え、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い、市内小中学校の小規模化が進み、児童生徒の人間関係の固定化や多様な価値観とのふれあいあい減少し、切磋琢磨することを通じての思考力や表現力、判断力、問題解決能力が十分に培われないなど、教育上・学校運営上の様々な課題が顕在化することが懸念されることから、平成28年度から学識経験者・PTA・地区の代表等の組織する「南相馬市公立学校適正化検討委員会」を設置して協議を重ね、平成30年11月に「南相馬市公立学校適正化計画（以下「適正化計画」という。）」を策定しました。

その適正化計画に基づき、望ましい適正化基準を満たさない学校のうち、既に複式学級規模が生じている学校、今後複式学級規模が生じる可能性がある学校を優先対象校として取組みを進め、鹿島区においては、令和3年度から八沢小学校及び上真野小学校の今後の学校のあり方や鹿島区内小中学校全体での魅力ある教育環境づくりなどについて、保護者や地域住民の皆様との協議を行うこととしました。

その後、急速な児童数の減少が見込まれる八沢小学校（八沢地区）の保護者及び地域住民の皆様との懇談会や意識調査の実施により、八沢小学校の今後のあり方等について意見の集約が図られたことから、鹿島小学校の保護者の皆様との懇談会や意識調査も実施しました。

その結果を踏まえ、適正化計画に基づき、令和5年2月に鹿島小学校・八沢小学校のPTA代表、地域の代表、学校長等で組織された鹿島小・八沢小学校適正化検討協議会が設置され、意識調査の結果や懇談会等で出された意見について協議し、「急速な児童数の減少が見込まれる八沢小学校について、令和6年4月に鹿島小学校と統合すべき」とする意見書を、統合に関わる7項目の要望事項とともにまとめ、市に提出されたところです。

この意見書を踏まえ、市教育委員会では、令和5年4月に「鹿島小学校・八沢小学校統合準備協議会」を設置し、鹿島小学校と八沢小学校の統合に向けた準備や統合校の基本的事項等について、ご協議いただきました。

今般、統合準備協議における協議結果を踏まえ、鹿島小学校と八沢小学校の統合を円滑に進めるとともに、魅力ある教育環境づくりに資するため、適正化計画に基づく「鹿島小学校・八沢小学校再編計画（以下、「再編計画」という。）」を策定します。